温室効果ガス排出削減計画

氏(法人	にあっ	こあっては名称)			住 (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 732-0814						
名マック	ックスバリュ西日本株式会社			所							
本票作成	部署	名:	総務部		.						
主たる業	種 🗓	分類	56 業種名:	各種商品小売	売業						
事業の 概 要	食品	スー	パーマーケット	、ディスカウ	ウントスト	・ア	の経営	,			
	番号	号 工場等の名称				所 在 地					
	1	マ	ックスバリュイス	オンタウン水	為店		岡山県	具倉敷市水品	島高砂	町3番3	5号
県内の	2	マ	ルナカ新倉敷店				岡山県	具倉敷市玉品	島爪崎	981-	1
主な	3	マ	ルナカマスカット店			岡山県	具倉敷市松品	島 1 1	54 - 2		
工場等	4	ンマルナカ山陽店					岡山県	具赤磐市下1	†13	3	
	(5)	マ	ルナカ高屋店				岡山県	具岡山市中[区高屋	36 - 1	
	6	マ	ルナカ中島店			岡山県倉敷市中島2780-1					
–	特定事業者 ☑ ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 □ ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 □ ③CO₂換算3,000t以上 の該当要件 (●工場等の数 67 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)										
計画期間	間		令和 2	年度	\sim		令和	6 £	手度	(5	箇年度)
計画期間	_画 い	vずれ ·選択	が 総排出量	基準	~ 目標肖 4.9		率				箇年度) 10~5% 5%未満
	票を	選択	が ☑ 総排出量	基準	~ 目標肖 4.9		率 %	目標 20%以	上 20~1		10~5% 5%未満
削減目を温室効果が	票を	選択	が	基準	4. 9		率 %	目標 区分	上 20~1	6 年月	10~5% 5%未満
削減目を温室効果が	票を	選択	か ☑ 総排出量差 □ 原単位基準 基準年度(令和	基準	4. 9		率 % 	目標 区分	上 20~1	5% 15~10% 6 年度 70,43	10~5% 5%未満 〇
削減目を 温室効果ガ	票を	選択	か ☑ 総排出量差 □ 原単位基準 基準年度(令和	基準 準 元 年度) 74,059 等の名称	4. 9 t CO ₂		率 % 	目標 区分 目標年度(上 20~1	6 年度 70,4 年度)	10~5% 5%未満 (三) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表
削減目机 温室効果力 排出量	票なる	選択	か ☑ 総排出量 ☑ 原単位基 基準年度(令和 工場	基準 準 元 年度) 74,059 等の名称 イオンタウン	4. 9 t CO ₂		率 % 	目標 区分 目標年度(上 20~1	6 年度 70,43 年度) 2,44	10~5% 5%未満 (更) 30 t CO ₂ の排出量
削減目を 温室効果力 排出量 基準年度 主な工場	票 ス で の等	·選択 番号 ①	か ☑ 総排出量 ☑ 原単位基 基準年度(令和 工場 マックスバリュ	基準 準 元 年度) 74,059 等の名称 イオンタウン 店	4. 9 t CO ₂		率 % 	目標 区分 目標年度(上 20~1	6 年度 70,43 年度) 2,44 2,4	5%未満 (で) (を) (の) (の) (が) (の) (の) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は
削減目材温室効果力排出量 基準年度	票 ス の等	·選択 番号 ① ②	か 図 総排出量	基準 元 年度) 74,059 等の名称 イオンタウン 店 ット店	4. 9 t CO ₂		率 % 	目標 区分 目標年度(上 20~1	6 年度 70,44 年度) 2,4 2,4 2,3	5%未満 (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)
削減目を 温室効果力 排出量 基準年度 主な工場	票 ス の等	·選択 番号 ① ② ③	か 図 総排出量 正 原単位基 基準年度(令和 工場 マックスバリュ マルナカ新倉敷 マルナカマスカ	基準 走 元 年度) 74,059 等の名称 イオンタウン 店 ット店	4. 9 t CO ₂		率 % 	目標 区分 目標年度(上 20~1	6 年度 70,43 年度) 2,44 2,30 2,24	5%未満 (で) 5%を表する。 (で) 5%を表する。
削減目を 温室効果力 排出量 基準年度 主な工場	票 ス	·選択 番号 ① ② ③ ④	か 図 総排出量。 正 原単位基。 基準年度(令和 工場 マックスバリュ マルナカ新倉敷 マルナカマスカ マルナカ山陽店	基準 走 元 年度) 74,059 等の名称 イオンタウン 店 ット店	4. 9 t CO ₂		率 % 	目標 区分 目標年度(上 20~1	6 年度 70,43 年度) 2,4 2,4 2,30 2,2 2,0	5%未満 (で) (を) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の
削減目標 温室効果力 排出量 基準年 基 連 工 が 出 量	票 ス の等	·選択 1 ② ③ ④ ⑤ ⑥	か 図 総排出量 正 原単位基準 基準年度(令和 工場 マックスバリュ マルナカ新倉敷 マルナカロ陽店 マルナカ高屋店	基準 元 年度) 74,059 等の名称 イオンタウン 店 ット店	4.9 t CO ₂		率 % 基準	目標 区分 目標年度(手年度(令和	令和 元	6 年度 70,43 年度) 2,4 2,4 2,30 2,2 2,0	5%未満 (でする) 5%未満 (でする) 10~5% (でする) 5%未満 (でする) 13 t CO ₂ (でする) 14 t CO ₂ (でする) 15 t CO
削減目標 温室効果が 排出量 基準年度場 の排出量	票 ス の等 画期温	選択	か 図 総排出量 正 原単位基 基準年度(令和 工場 マックスバリュ マルナカ新倉敷 マルナカロ陽店 マルナカー高屋店 マルナカ中島店	基準 準 元 年度) 74,059 等の名称 イオンタウン 店 ット店	4.9 t CO ₂ ン水島店 ご事業者が		率 % 基準	目標 区分 目標年度 (令和 では) 「	上 20~1	6 年度 70,45 年度) 2,4 2,4 2,3 2,2 2,0 1,95	5%未満 (で) (を) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の
削減目 温室効果カ 排出量 基準年工出量 ※ 「計	票 ス の等 画 準を	選択	か 図 総排出量。 正 原単位基 基準年度(令和 工場 マックスバリュ マルナカ新倉敷 マルナカマスカ マルナカ山陽店 マルナカー島店 マルナカ中島店 欄には、5 箇年	基準 準 元 年度) 74,059 等の名称 イオンタウン 店 ット店	4.9 t CO ₂ ン水島店 ご事業者が		率 % 基準	目標 区分 目標年度 (令和 を記入する)	上 20~1	6 年度 70,45 年度) 2,4 2,4 2,3 2,2 2,0 1,95	5%未満 (でする) 5%未満 (でする) 10~5% (でする) 5%未満 (でする) 13 t CO ₂ (でする) 14 t CO ₂ (でする) 15 t CO

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマー	り指標	関連数値(令和	元	年度)	達成率(%)
指標の状況	食料品スーパー業	0.799	以下	1.047			76.3%

【目標削減率設定の基本的な考え方】

2025年温室効果ガス削減目標9.0% (2010年比) に向けて、店内照明や冷ケース照明、また外灯照明のLED化へ更新に加え、冷ケース冷媒ガス入替による設備更新などハード面による取組みと、ソフト面では冷ケースのハニカム清掃、フィルター清掃及び室外機のフィン清掃、不要箇所の照明消灯など人による省エネ・節電の取組を行う事で温室効果ガス排出量の削減に繋げる。

【目標削減率達成のための推進体制】

IS014001の取り組みを中心に従業員への教育を進める。特に電気使用量削減に対する取組では、店舗ごとに目標設定と進捗管理を実施し、後方へ実績掲示し「見える化」を実施し、従業員の意識を高める体制を構築する。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
全店	冷蔵・冷凍ケースのハニカム清掃(冷蔵冷凍機の負荷軽減)
	冷蔵・冷凍ケースの温度設定の適正化。
	事務所・作業場のフィルター清掃と室外機フィン清掃による
	空調設備の負荷軽減。
	ISOを利用した電気使用量の目標と実績の見える化により
	従業員を巻き込んだ省エネ意識向上と省エネ活動に繋げています。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

_ 【可 四朔 同中 に 日 保 門 例 半 と 月	Ĕ以りるために夫肔りる指直】
工場等の名称	措置内容
全店	これまでの主な取組みであるハニカム清掃、フィルター清掃、
	室外機のフィン清掃による空調や冷ケースの負荷軽減、温度設定
	適正化により電力使用量の削減の取組を継続する。
具体的店舗や時期は未定	老朽化した冷ケースの入れ替え、冷媒ガスの入れ替え。
(老朽化設備の更新)	照明(売場、冷ケース、外灯)のLED更新を令和7年度までに
	老朽化した設備を中心に入れ替えを段階的に行う。
	具体的店舗は未定だが、中国電力エリア(広島県、山口県含む)で
	LED更新を81店舗、棚照明LED化を11店舗、冷媒ガス入れ替えを
	令和7年度までに34店舗計画している。

【本林保	全等吸収源対策への取組計画】
	T TE () X M X () T X W Y Y Y Y X M H H I H I H

県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内で の取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

2021年3月にマックスバリュ西日本(株)と山陽マルナカ(株)、マルナカ(株)の3社合併によりマックスバリュ(株)と山陽マルナカ(株)が一体となった温室効果ガス削減計画の作成が必要となった為、このたび計画を変更いたしました。